

「APECジェンダー・ダイバーシティ経営フォーラム」を開催

～企業の持続可能な成長に向けた一歩先のダイバーシティ経営とは～

2017年10月18日、東京において「APECジェンダー・ダイバーシティ経営フォーラム」を経済産業省が主催。「企業の持続可能な成長に向けた一歩先のダイバーシティ経営」をテーマに、①企業経営者からの取組事例の共有に加え、②機関投資家から見たダイバーシティに関する「資本市場と企業との対話」の在り方等、企業・機関投資家の双方の視点から議論を行い、ダイバーシティ経営に関する理解を深めた。

フォーラムには日本、米国、豪州、メキシコ、ロシア、マレーシア、ベトナム、フィリピン、タイから計18名のスピーカーが登壇。

○企業関係者(グーグル合同会社、3M社、三菱重工業、丸井グループ、等)

○機関投資家(GPIF、第一生命保険、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ、オーストラリア・ニュージーランド銀行等)

○公的機関(米国政府、ベトナム政府、横浜市等)

議論のポイント

1. 経営層の女性比率を高めるための新しい発想

企業には昇進や採用についての発想の転換が必要(経営層への昇進基準の変更、中堅マネジメント・レベルへの採用促進、数値目標の採用、キャリア形成のためのコーチング等)。

2. 女性の就労継続とキャリア形成を可能にする職場制度、社内外システムの構築

育児休業、保育園、柔軟なワークスタイル等のシステム構築・活用や、女性のキャリア形成を可能にする研修、メンター制度、ネットワーク構築が重要。

3. 持続的経営におけるダイバーシティ経営の位置付け

投資家にとっては企業の長期的・持続的ガバナンスが投資判断の上で重要。ダイバーシティ経営を含むESG(Environmental, Social, Governance)は企業のイノベーションに寄与し、企業の長期的利益に貢献。

4. ダイバーシティ経営に関する指標の作成による企業と資本市場の対話の促進

ダイバーシティの達成度に関する信頼できる指標の形成は、投資家に対する企業の透明性を高め、よい投資判断を決定を可能とする。ビッグデータはダイバーシティに関するデータベース化を可能に。

